

三豊市文書館開館

国立公文書館所蔵資料展

10th

Anniversary

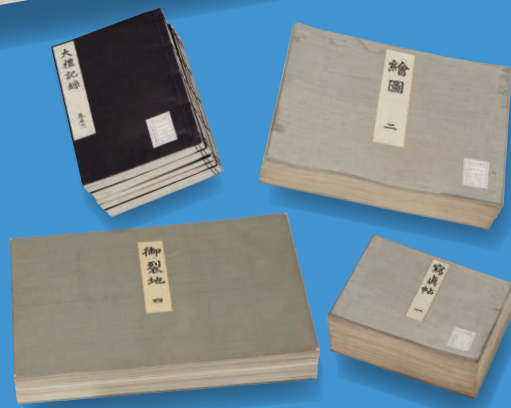
近代日本のあゆみと

三豊



パネル展示

入場無料



2022

1.22 [土] - 2.27 [日]

[会期中の休館日] 1/24・28・31、2/7・11・14・21・23・25

[開館時間] 9:00~17:00



三豊市文書館

MITOYO 香川県三豊市山本町財田西375 TEL.0875-63-1010

共催：独立行政法人国立公文書館 三豊市文書館

※新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、変更、中止する場合がございます。



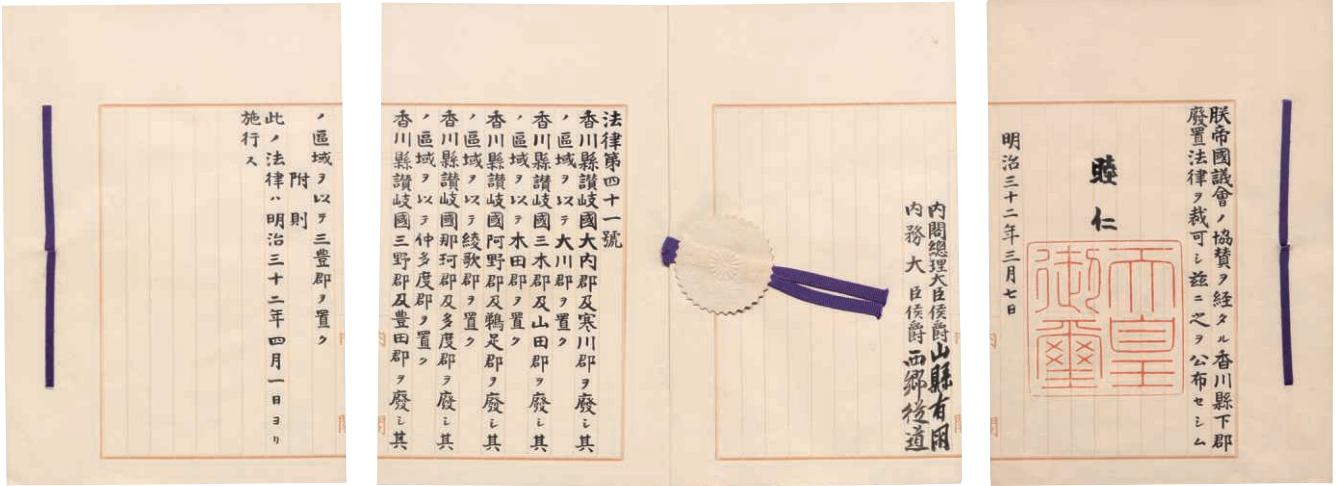
独立行政法人

国立公文書館

NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

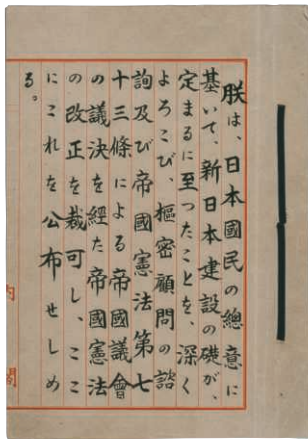
近代日本の あゆみと 三豊

国立公文書館は国の機関等から移管を受けた歴史資料として重要な公文書等を保存し、閲覧や展示、デジタルアーカイブなどを通じて利用に供しています。このたび、三豊市文書館の開館10周年を記念して、共催展示「近代日本のあゆみと三豊」を開催いたします。本展では、「日本国憲法」をはじめ、国立公文書館が所蔵する歴史的に重要な公文書に加え、三豊郡の設置に関する法律や大正大礼に関する「大礼記録」など、香川県や三豊市に関係の深い資料、三豊市文書館所蔵の三豊市の歴史に関する資料を展示し、近代日本と三豊のあゆみをたどります。



● 三豊郡の設置 [国立公文書館所蔵]

明治32年(1899)、郡制の改正にとともに、香川県内の郡の廃置に関する法律が公布されました。画像は同法の公布原本です。この法律によって、三野郡と豊田郡が合併して三豊郡が設置されました。この時に設置された三豊郡の名称が、現在まで続く三豊の地名の由来になっています。



● 日本国憲法 [国立公文書館所蔵]

昭和21年(1946)11月3日、日本国憲法が公布されました。天皇を国の象徴とし、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を基本的原則とするとともに、三権分立を徹底した日本国憲法は、翌年5月3日から施行されました。画像は、日本国憲法の公布原本です。



● 太陽熱発電開始 記念乗車券

[三豊市文書館所蔵]

昭和49年(1974)、日本の新エネルギー研究開発計画である「サンシャイン計画」が工業技術院によって計画されました。同計画では太陽熱発電や地熱利用、水素エネルギーといった新しいエネルギーについて研究が進められ、三豊郡仁尾町(現在の三豊市仁尾町)に太陽熱試験発電所が建設されました。昭和56年9月1日に同所でタワー集光方式の試験運転が開始され、同年10月1日には曲面集光方式の試験運転が開始されました。画像は、これを記念して、当時の国鉄四国総局が発行した記念乗車券です。



三豊市文書館

香川県三豊市山本町財田西375
TEL.0875-63-1010

アクセス

- 自動車 高松自動車道 さめき豊中I.Cから約10分
- バス 三豊市コミュニティバス(琴平駅行、琴平駅発観音寺駅行、琴平駅発三豊総合病院行)に乗車、山本庁舎下車。

